

日本第四紀学会 2009年大会

シンポジウム・普及講演会



【主催】日本第四紀学会 【共催】滋賀県立琵琶湖博物館

2009年8月30日(日) 参加費/無料 (事前申し込み不要)

■9:00 ~ 12:30

シンポジウム『古環境変動へ貢献する湖沼堆積物研究の役割』

人間活動の場である陸域の環境変動や、環境変化と人間活動との関係性を知ることは、第四紀学にとっても大きな課題の一つです。湖や沼は陸域にある事から、ヒトの生活圏へ直接的に影響を与える自然環境の変化や、人間活動による影響を、その堆積物中に保存している事が期待されます。

このシンポジウムでは、湖沼堆積物が古環境変動の解明について、どのような役割を果たすことができるのかを議論します。

◆講演者：井内美郎、里口保文、櫻原 徹、奥田昌明、豊田和弘、齋藤めぐみ、井上 淳、高原 光

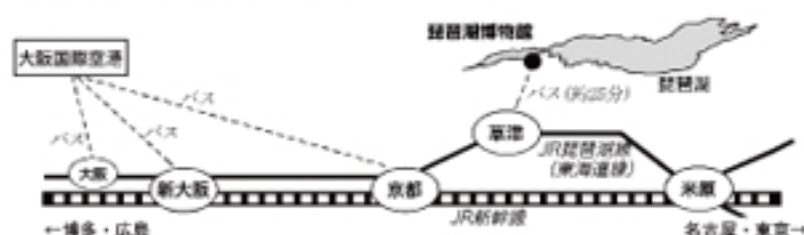
■14:00 ~ 16:40

普及講演会『琵琶湖堆積物がつむぐ過去から未来へのメッセージ』

シンポジウムの関連普及講演です。琵琶湖が湖底に保存してきた堆積物から、過去の環境変化についてどこまでわかってきたのか？ 2人の研究者からお話いただきます。

◆講演者：竹村恵二 (京都大・地熱研) 「過去 100 万年間の琵琶湖堆積物に残された汎地球規模変動の記録」
高原 光 (京都府大) 「琵琶湖と周辺湿地堆積物から読み解く植生と人間活動の移り変わり」

【場所】琵琶湖博物館 ホール



交通：JR琵琶湖線「草津」駅西口より、近江鉄道バス「鳥丸半島」行き乗車、「琵琶湖博物館」下車 (約 25 分)

